



## 平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 KNT-CTホールディングス株式会社  
 コード番号 9726 URL <http://www.kntcthd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 戸川 和良  
 (氏名) 伊藤 浩一

TEL 03-6891-6844

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	323,729	45.0	132	—	△404	—	△399	—
24年12月期第3四半期	223,232	—	△863	—	△890	—	△1,383	—

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 273百万円 (—%) 24年12月期第3四半期 △1,083百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	△1.51	—
24年12月期第3四半期	△14.59	—

(注) 平成25年12月期より従来の純額表示(営業収益)から総額表示(売上高)に変更しております。なお、平成24年12月期第3四半期売上高の対前期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第3四半期	140,134	20,806	14.8	77.60
24年12月期	87,760	5,718	6.4	59.45

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 20,733百万円 24年12月期 5,637百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	465,000	—	4,400	87.6	3,900	47.5	1,500	△16.1	5.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成25年12月期より従来の純額表示(営業収益)から総額表示(売上高)に変更しておりますので、売上高の対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) クラブツーリズム株式会社、除外 1社 (社名)  
(注)詳細は、3ページにあります「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 有  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無  
(注)詳細は、3ページにあります「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期3Q	268,456,635 株	24年12月期	96,175,121 株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	1,263,165 株	24年12月期	1,352,847 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期3Q	264,132,628 株	24年12月期3Q	94,827,154 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中でありませぬ。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提条件その他の関連する事項については、2ページにあります「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、政府の経済政策効果が顕在化しつつあるなかで、家計所得や投資の増加傾向が続き、景気は緩やかに回復しつつあります。旅行業界におきましては、国内旅行をはじめとして全般的には旅行需要の復調傾向が続いておりますが、海外旅行におきましては年初来の円安傾向や東アジア情勢の影響が団体旅行・個人旅行とも需要のマイナス要因となっており、当社グループにおきましても、円安による原価の上昇を含めてその影響を少なからず受けることとなりました。

このような情勢のもと、当社は本年1月1日、持株会社体制に移行し、本年2月に策定した平成27年12月期までの中期経営計画にもとづき、グループ各社の「自立経営」と「連携強化」を促進するとともに、“近畿日本ツーリスト”および“クラブツーリズム”の長所を活かしたシナジー効果の最大化を推進してまいりました。

近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社のWeb専用宿泊商品やクラブツーリズム株式会社のバスツアー商品をはじめとする両社の看板商品の相互販売や、チャーター便の共同販売など、相乗作用の強化を図りました。8月には、両社で「あおもり市民ねぶた実行委員会」に協賛し、大型ねぶたの製作・運行をサポートするとともに、両社あわせて12,000名を超えるお客様を送客し、お客様満足度と当社グループのブランドイメージの向上につなげました。また、「越中おわら 風の盆」で有名な八尾の町で祭りを再現するクラブツーリズムオリジナルイベント「月見のおわら」に、近畿日本ツーリスト株式会社からも700名を越える団体客が参加するなど、統合に伴う旅行企画素材の拡充を図り新規顧客の獲得につなげました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は3,237億29百万円（前年同期2,232億32百万円）、連結営業利益は1億32百万円（前年同期 営業損失8億63百万円）、連結経常損失は4億4百万円（前年同期 経常損失8億90百万円）、連結四半期純損失は3億99百万円（前年同期 四半期純損失13億83百万円）となりました。

なお、従来、自社の募集型企画旅行、受注型企画旅行等の旅行商品の販売取引について、売上高から売上原価を控除する方法（純額表示）によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より売上高および売上原価ともに計上する方法（総額表示）に変更しております。この変更に伴い前年同期の売上高については、遡及修正後の数値と比較しております。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ59.7%増加し、1,401億34百万円（前連結会計年度末は877億60百万円）となり、負債合計は、前連結会計年度末に比べ45.4%増加し、1,193億28百万円（前連結会計年度末は820億41百万円）となりました。また、純資産は、前連結会計年度末に比べ263.8%増加し、208億6百万円（前連結会計年度末は57億18百万円）となりました。これらの増加は主に、平成25年1月1日付のクラブツーリズム株式会社との経営統合および繰延税金資産の計上によるものです。

この結果、自己資本比率は14.8%で前連結会計年度末から8.4%増加しました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の連結業績を踏まえ、現時点において、通期の連結業績予想につきましては、平成25年2月15日に公表した予想数値に変更はございません。

なお、今後の見通しにつきましては引続き検討を行い、業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかに公表させていただきます。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間より、株式を100%取得したクラブツーリズム株式会社を連結の範囲に含めておりません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### （売上高の総額表示）

従来、自社の募集型企画旅行、受注型企画旅行等の旅行商品の販売取引については、売上高から売上原価を控除する方法（純額表示）によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より売上高および売上原価ともに計上する方法（総額表示）に変更しております。

この変更は、平成25年1月1日付で当社が近畿日本鉄道株式会社の子会社になったことに伴い、近畿日本鉄道株式会社の連結上の会計処理の統一のために行うものであり、また、企画旅行等の販売については、瑕疵担保責任などの契約当事者としての側面が強まっていること、当社の取扱高に占める企画旅行等の旅行商品の割合が高まっていることから、総額表示への変更を行うことで経営成績をより明瞭に表示するものであります。

当該会計方針の変更については、遡及修正を行い、前年四半期および前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表および連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第3四半期連結累計期間の売上高、売上原価はそれぞれ180,648百万円増加しておりますが、営業損失、経常損失および税金等調整前四半期純損失に与える影響はありません。また、前連結会計年度の期首の純資産に反映されるべき累積的影響額はなため、前連結会計年度の利益剰余金の期首残高に与える影響はありません。

なお、他社の募集型企画旅行、手配旅行等の代理販売取引については、従来どおり、純額表示しております。

#### （減価償却方法の変更）

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,041	43,361
預け金	4,500	16,120
受取手形及び営業未収金	17,001	21,772
商品	22	24
団体前払金	11,628	18,224
繰延税金資産	595	4,042
その他	9,407	9,421
貸倒引当金	△53	△129
流動資産合計	67,142	112,837
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,206	1,258
土地	1,548	1,283
その他（純額）	736	742
有形固定資産合計	3,490	3,283
無形固定資産		
のれん	—	3,084
その他	6,728	6,211
無形固定資産合計	6,728	9,295
投資その他の資産		
投資有価証券	3,070	4,491
繰延税金資産	510	2,097
その他	7,279	8,602
貸倒引当金	△461	△473
投資その他の資産合計	10,398	14,717
固定資産合計	20,617	27,296
資産合計	87,760	140,134

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	11,329	13,583
未払金	2,746	5,621
未払法人税等	332	95
預り金	18,400	20,801
未精算旅行券	30,211	35,428
団体前受金	10,280	31,730
賞与引当金	271	1,754
その他	3,589	3,868
流動負債合計	77,162	112,885
固定負債		
退職給付引当金	1,166	2,918
旅行券等引換引当金	1,015	699
その他	2,697	2,824
固定負債合計	4,879	6,442
負債合計	82,041	119,328
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,579	7,793
資本剰余金	4,812	6,957
利益剰余金	△7,203	4,868
自己株式	△143	△1
株主資本合計	5,043	19,617
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	301	978
繰延ヘッジ損益	453	△319
為替換算調整勘定	△161	457
その他の包括利益累計額合計	593	1,115
少数株主持分	81	72
純資産合計	5,718	20,806
負債純資産合計	87,760	140,134

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	223,232	323,729
売上原価	180,648	268,836
売上総利益	42,584	54,892
営業費用	43,447	54,759
営業利益又は営業損失(△)	△863	132
営業外収益		
受取利息	137	227
受取配当金	22	22
助成金収入	50	20
その他	70	81
営業外収益合計	280	352
営業外費用		
支払利息	187	105
持分法による投資損失	50	31
為替差損	54	743
その他	15	10
営業外費用合計	308	890
経常損失(△)	△890	△404
特別利益		
固定資産売却益	0	49
受取補償金	160	20
その他	1	5
特別利益合計	162	75
特別損失		
損害賠償金	223	—
経営統合関連費用	—	137
固定資産除却損	18	48
店舗閉鎖損失	57	1
投資有価証券評価損	4	—
その他	40	12
特別損失合計	343	199
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,071	△529
法人税、住民税及び事業税	282	486
法人税等調整額	37	△605
法人税等合計	320	△118
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,392	△410
少数株主損失(△)	△8	△11
四半期純損失(△)	△1,383	△399

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△1,392	△410
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	166	763
繰延ヘッジ損益	△8	△753
為替換算調整勘定	119	448
持分法適用会社に対する持分相当額	32	224
その他の包括利益合計	309	684
四半期包括利益	△1,083	273
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,074	282
少数株主に係る四半期包括利益	△8	△9

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

## 株主資本の著しい変動

当社は、平成25年1月1日を効力発生日として当社を株式交換完全親会社とし、クラブツーリズム株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換を実施したことおよび新株予約権の行使により、資本剰余金が2,144百万円、利益剰余金が12,471百万円それぞれ増加し、自己株式が143百万円減少いたしました。

## (5) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

「II 当第3四半期連結累計期間 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載の通りです。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	個人旅行 事業 (百万円)	団体旅行 事業 (百万円)	その他 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 財務諸表 計上額 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	200,223	69,517	53,987	323,729	—	323,729
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	75	1,652	7,491	9,218	△9,218	—
計	200,299	71,169	61,479	332,948	△9,218	323,729
セグメント利益又は損失(△)	351	466	△184	633	△500	132

(注) 1. 「その他」の区分は、海外航空券卸販売、北海道・東北・中国四国・九州地区の各種旅行商品の販売、海外におけるサービスの提供と各種旅行商品の販売、人材派遣業、物品販売業、損害保険業および旅行関連サービス業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△500百万円には、セグメント間取引消去2百万円、のれん償却額△544百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益・全社費用の純額△27百万円、その他調整額67百万円が含まれております。全社収益は主にグループ会社からの経営指導料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、純粹持株会社体制への移行に伴い、報告セグメントを従来の「旅行業」単一セグメントから、「個人旅行事業」、「団体旅行事業」、「その他」の3区分に変更しております。

なお、変更後の区分方法により作成した前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、売上高、売上原価と販売費および一般管理費の金額を遡って正確に抽出することが実務上困難なため、開示を行っておりません。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間に、クラブツーリズム株式会社との経営統合により、のれんが発生しておりますが、報告セグメントには帰属させておりません。なお、当該事象による当第3四半期連結累計期間におけるのれんの償却額は544百万円、当第3四半期連結会計期間末におけるのれんの未償却残高は3,084百万円であります。